

令和7年

建設文教委員会

9月22日

豊明市議会

# 建設文教委員会会議録

令和7年9月22日

午後5時14分 開会

午後5時38分 閉会

## 1. 出席委員

委員長	青木 けんじ	副委員長	浅井 たかお
委員	郷右近 修	委員	月岡 修一
委員	一色 美智子	委員	毛受 明宏
委員	ふじえ 真理子		
議長	近藤 ひろひで		

## 2. 欠席委員

なし

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健治	庶務担当係長	福田 悦子
議事担当係長	矢野 佑輔		

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	小串 真美
経済建設部長	星子 恭士	農業政策課長	加藤 直美
農業政策課長補佐	近藤 貴洋		

## 5. 傍聴議員

岡島 ゆみこ	中堀 りゅういち	こんどう のぶお	いとう ひろし
服部 龍一	武谷 としお	林 ゆきひろ	三浦 桂司
堀内 ちほ	清水 義昭		

## 6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午後5時14分開会

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ただいまより建設文教委員会を開会いたします。  
会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。  
小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。  
建設文教委員会に付託されました案件は1議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
以上、終わります。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ありがとうございます。  
続いて、議長より挨拶をお願いします。  
議長。

○議長（近藤ひろひで議員） お疲れさまです。よろしくお願ひいたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ありがとうございます。  
これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願ひます。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席いただきますので、御承知おき願ひます。

（市長退席をなす）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第74号 令和7年度豊明市一般会計補正予算（第4号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者の説明を求めます。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤直美君） それでは、議案第74号 令和7年度豊明市一般会計補正予算（第4号）のうち、農業政策課所管分について御説明いたします。

4ページをお開きください。

下段、6款1項3目 農業振興費、農業振興事業の説明欄、病虫害防除対策費補助金は、被害の拡大が懸念される病虫害防除の薬剤費の一部を補助するものですが、今年度は農業者の方がイネカメムシ対策を昨年度よりもしっかりと実施されている状況を踏まえ、引き続き、農産物の品質向上及び農業者の負担軽減を図るために既存補助金を増額するものがございます。

以上で農業政策課所管分の説明を終わります。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 理事者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑については、ページ数を示してからお願いします。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 すみません、聞き逃していたら申し訳ないんですけど、4ページの今の病虫害防除対策費の何の作物に使うんでしたっけ。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 主に稲とか、あとヨトウムシというのはいろんな作物になるものなんですけれども、そういったものだとか、あとは野菜全般に効くアブラムシが対策ってなっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今からの予算執行だと、稲はもう今からあんまりなくて、その他の何か葉物野菜か根菜なのか何かその他の食べ物の野菜に使うって、そういうことですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 委員のおっしゃるとおり、そういったことでございますけれども、あわせて、補助団体であるJA様が10月中旬より農薬の予約申込み事業を行うことから、引き続き、農産物の品質向上を図って、農業者の負担軽減につながるよう、このタイミングで補正計上させていただくということでございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 イネカメムシの生態のところになるんですけど、これ、今回の対策というのは、成虫に対して対策を打つのか、幼虫に対して対策を打つのか、何かちょっと見てみたら、やっぱり温暖化とかそういうの影響というのがあって、成虫で何か最近越冬するというふうで書いてあるものですから、今回はどのところへ対策を打つのか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） イネカメムシで申し上げますと、成虫の段階で穂が出るタイミングで、軟らかいものですから、そこに刺して、不稔米というか中が空もみであったりだとか、あと、色が着色するような米ができてしまうものですから、そちらのほうを防除するんですけれども、その防除自体が最終的に8月下旬でありまして、今年度は、皆さん、昨年度が被害が大きかったものですから、しっかり防除していただいたということも踏まえて、内容を確認したところ、昨年度よりも大分事業費が大きかったということもありまして、あと、後半の部分の薬剤の購入のことも考えますと、こちらのほう、このタイミングで補正予算を計上させていただいたという次第です。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 付近を見ますと、結構稲刈りが済んでいるところもあるように思うんですが、今から残っている田んぼに対してそういう防虫薬剤をまくということなんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 稲刈りが済んでいるのは大体コシヒカリの地域でございまして、そちらのほうはもう既に終わっている状況でございしますが、今後稲刈りをするのはあいちのかおり、豊明市内で7割を占めておりますあいちのかおりになりますけれども、そちらのほうも防除自体は8月下旬で既に済んでいる状況でございします。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連なんですけれども、そうしますと、今年度8月下旬で最終の防除終わっているということは、来年度に使うものを今年度も買える、その補助が出るというふうでいいですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 今年度もヨトウムシ、9月の下旬、去年ですと9月ぐらいに大変被害の大きかったヨトウムシとか出たりとか、アブラムシとかの対策で薬剤を購

入されるということと、もう一つ、農薬の予約注文を10月下旬から受け付けるということになりますので、ただ、この補助金につきましては、今年の4月から来年の2月まで購入した薬剤に対して補助するものでございますので、使う年度は若干違うかもしれませんが、このタイミングで購入しなければならないということから、補助事業、補助費もちょっと上げさせていただいたということになります。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 当初予算から実績、何件というのか何人というのかちょっとあれですけど、実績を教えてください。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 人数まではちょっと把握することが大変難しいものから、薬剤の件数でお答えいたします。476個と言っていいかと思えます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 これは国とか県の補助はないのですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 国とか県の補助事業はございません。市単独補助となります。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど毛受委員からもちょこっと出たんですが、こういった温暖化で年々そういう農作物へのいろんな被害というか、いつもと違ったものが出てくる、その薬剤、防除するための補助ということなんですけども、そういった対応策、もちろん補助、補助じゃない、防除の目の前の対応策はこの補助を出すんですけれども、もうちょっと根本の対応策というのは議論というのか検討はされていますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 先日の決算特別委員会のときでもお答えしたと思うんですけども、まず、そのもの自体が、ごめんなさい、例えば稲自体に虫、防虫じゃないんですけど、そういった効果があるものも最近ちょっと地球温暖化に伴って開発はされているんですけども、開発自体に数年かかるということもございます。

あと、適宜と適量でピンポイントで防除することが大切なものですから、そこは、国とか県の方が協力して、あと県の方もJ Aさんと情報共有を徹底して、そのことを農業者の方にしっかり伝えるということが、病虫害の防除と併せて薬剤の適正使用ということにつながるものですから、その両輪でやっていくという形になるかと思います。

あと、この補助金ですけれども、広く虫の被害を防ぐというものに限定させていただいているものですから、全ての農薬というわけではないかというふうでお願いしたいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 今回の御説明の虫に限定ということでおっしゃっていたんですけど、殺菌剤も含まれていますか、殺菌剤は。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、8月末で確認させていただいたところ、実績としては上がっていませんでした。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 先ほど本会議場でちょっと聞き取れなかったので、もう一度御説明いただきたいんですけど、3法人の名前、アグリさんと、もうあと2つがちょっと聞き取れなかったので、再度お願いいたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、要綱の第2条第3項で「その他市長が認めた農業者又は法人」のところがございます。地域計画の集積、集約の中心となる農業経営体として3法人を選定しておりまして、こちらが、豊明アグリサービスさん、H I アイキ・アグリさん、耕孝さんという3法人となっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 補助した薬品ですけれども、先ほどスタークル、クラブということをお聞きしたんですが、これはネオニコチノイド系という薬なんですけど、ほかに、ほかの薬剤としてダントツ、アクタラという薬品は入っていませんか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 浅井委員がおっしゃられている薬剤は入っておりません。  
以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。  
浅井副委員長。

○浅井たかお委員 農協からの組合員の申請というのは、全て補助の対象になりますでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、JAさんと私どもで指定薬剤を指定しているものですから、あと、そちらのほうを購入されて、かつ、JAさんのほうに補助金の申請をしていただくということで、誓約書とかいろいろな書類をつけて申し込まれた方が最終的に補助の対象になるのかなというふうに想定しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。  
浅井副委員長。

○浅井たかお委員 すみません、先ほど御質問あったかもしれないんですけど、476個というのがあったんですけど、これの最初のちょっと質問がちょっと聞き取れなかったもので、どういったことのこれ、数でしたでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらにつきましては、4月から8月末までで購入された農薬の個数となっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 それでは、農協の対象の組合員さんのほうは何名いるか御存じでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 現時点で対象人数というのは把握し切れていません。  
以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。  
浅井副委員長。

○浅井たかお委員 組合員からその申込みがあるんですけど、万が一ということを考えて、人の分までというか、そういったことで、不正流用、横流しみたいなことがあるといけな

いんですが、そういったもののチェック体制とか、そのチェックはどのようにされているでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、JAさんの申請書にそういった転売とかそういったことはしないというふうに制約があって、もし万が一発覚した場合には補助金の返還ということも書かれていますし、それから、補助の場所も記載してもらうものですから、そこで適切な量かということはJAさんのほうで判断していただいておりますし、また、栽培日誌の面積から必要量についても確認されているということ聞いておりますので、そこらは適切に判断できるかと思えます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 先ほど、組合員のみということだったんですけど、万一、農業経営されている方でも組合員になってない方もいると思うんですが、そういった方との不公平さというのは考えられておりますでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） この補助金は、農業者団体等が行う事業についてということで、農業者団体等が行う事業ですので、JAさんが行う事業というのが、市内で耕作している豊明地域組合員限定でというふうになっておりますので、組合員以外の方はこの事業には参加できないということになっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 ありがとうございます。補助申請をしてもらって、それからある程度金額が分かっていないと補助金の予算管理ができないのではないかとこの疑問があるんですが、その辺はいかがでしょうか。

（どういう質問、その声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、年度当初でどういうふうな積算をしたかからちょっと御説明しますけれども、昨年度もイネカメムシが急拡大しているということで、昨年度の9月議会にて既存補助金の増額を、増額補正をお認めいただきました。今年度の当初予算は、昨年度補正予算後とほぼ同額の事業費に対して、補助率3分の1を乗じて予算計上してました。ですが、イネカメムシ対策の状況というのが昨年度と今年度はちょっと明らかに違っていたということもありまして、それで8月末現在のイネカメムシ対策の状況

と併せて、今後の使用見込み、購入する見込みを昨年度同様に積算しまして、今回の補正になった次第でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 ありがとうございます。

それでは、この補助金の上限とか制限、3分の1という補助は分かるんですが、これの上限と制限というのはありますでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 補助金は、防除費用の3分の1以内となっておりますので、一応今年度に限って言えば、今回の補正で、あとは案分、3分の1を超えるようでしたら案分という形になるというふうに現在は思っております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 反対、議案70……。

（発言する者あり）

○浅井たかお委員 議案74号の豊明市一般会計補正予算書（第4号）について、反対の立場で討論します。

まず、農業者団体から提示された金額について、しっかりとした上限ということがちょっと分からなくて、そのまま補助することはちょっと問題があると思います。それから、非組合員との不公平感もちょっと再検討が必要だと思えます。

それから、補助の対象の薬剤、スタークル、キラップ、いずれもネオニコチノイド系の農薬です。このネオニコチノイド系農薬は、神経毒性、浸透性、残留性の3つの特徴を持っていて、蜜蜂や水生生物への影響が国内外で懸念されています。東京都医学総合研究所の研究では、低濃度でも神経発達への影響が示唆されており、市として予防原則に基づいた対応が求められます。国もみどりの食料システム戦略に基づいてオーガニックビレッジの推進を図っており、本市ではそのような対応ができていないということで、危険性が示唆される農薬の補助については賛同しかねるため、反対をいたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 議案第74号の一般会計補正予算（第4号）について、賛成の討論しますが、やはり稲作のほうで困っておられるというところで、反対の理由が逆にちょっと見当たらないものですから、賛成といたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第74号、一般会計補正予算（第4号）のうち、本委員会所管部分について、賛成の立場で討論いたします。

一言、やはりこういう病害虫というのが温暖化のいろんな影響で出てきている一端かなと思います。そういう越冬しないような気候というか、もう本当に差し迫っているなというのをこういうところでもあります。

目の前の生産者さん、生産者の方からすると、深刻なのは分かります。目の前のそういう対症療法、もちろん分かるんですが、一方で、ちょっと質疑させていただいたんですが、根本的なところ、大きく言えば気候変動のところの防いでいくというところになってくんですが、そのためのいろんな改良、暑さに強い作物に転換するだとか、そういった開発にも、お答えで時間はかかるというのをおっしゃったんですが、そういったところも、現場の農業者さんの声を聞きながら、調査をした上でですが、必要なバックアップをしてほしいと思います。農薬で病害虫をやっつけるってすると、その病害虫は耐性がつきます。そうすると、もっと強い農薬が必要になってくるという悪循環になってしまいますので、その辺も目の前の対処と同時に根本のところを今後もしっかり見てほしいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第74号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 賛成多数であります。よって、議案第74号のうち、本委員会所管部分については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○建設文教委員長(青木けんじ議員) ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出させていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。

午後5時38分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

建設文教委員会

委員長